

震度問題検討会の開催について

1. 開催目的

震度情報は、地震発生直後の災害応急対策の実施等に利用されるなど地震防災上極めて重要な情報であるが、震度7については震度計による計測ができないことや、各震度階級の現行の説明文が現代社会に適合していないことなどの問題点がある。このため、学識経験者及び関係行政機関から構成される検討会を開催し、気象庁震度階級の見直しについて検討を行う。

2. 検討会メンバー

座 長	宇津 徳治	東京大学名誉教授
	太田 裕	東京大学地震研究所教授
	岡田 恒男	東京大学生産技術研究所教授
	中林 一樹	東京都立大学都市研究所教授
	廣井 脩	東京大学社会情報研究所教授
	山谷えり子	サンケイリビング新聞社編集長
	野田 節男	運輸省港湾技術研究所長
	古賀 泰之	建設省土木研究所地震防災部長
	北川 良和	建設省建築研究所国際地震工学部長
	橋本 健	国土庁防災局震災対策課長
	森村 和男	消防庁震災対策指導室長
	和田 正幸	東京都災害対策部防災計画課長

3. 主な検討議題

- (1) 震度7の判定方法の見直し
- (2) 震度階級説明文の適正化

4. 開催スケジュール

第1回検討会 平成7年3月16日(木)開催予定

本件に対する問い合わせ先：地震津波監視課調査官

関田 康雄(内線4550)